

将来像達成の参考指標に係る説明資料

2023(R5)年7月7日

第2回「関西広域産業ビジョン」改訂委員会 資料

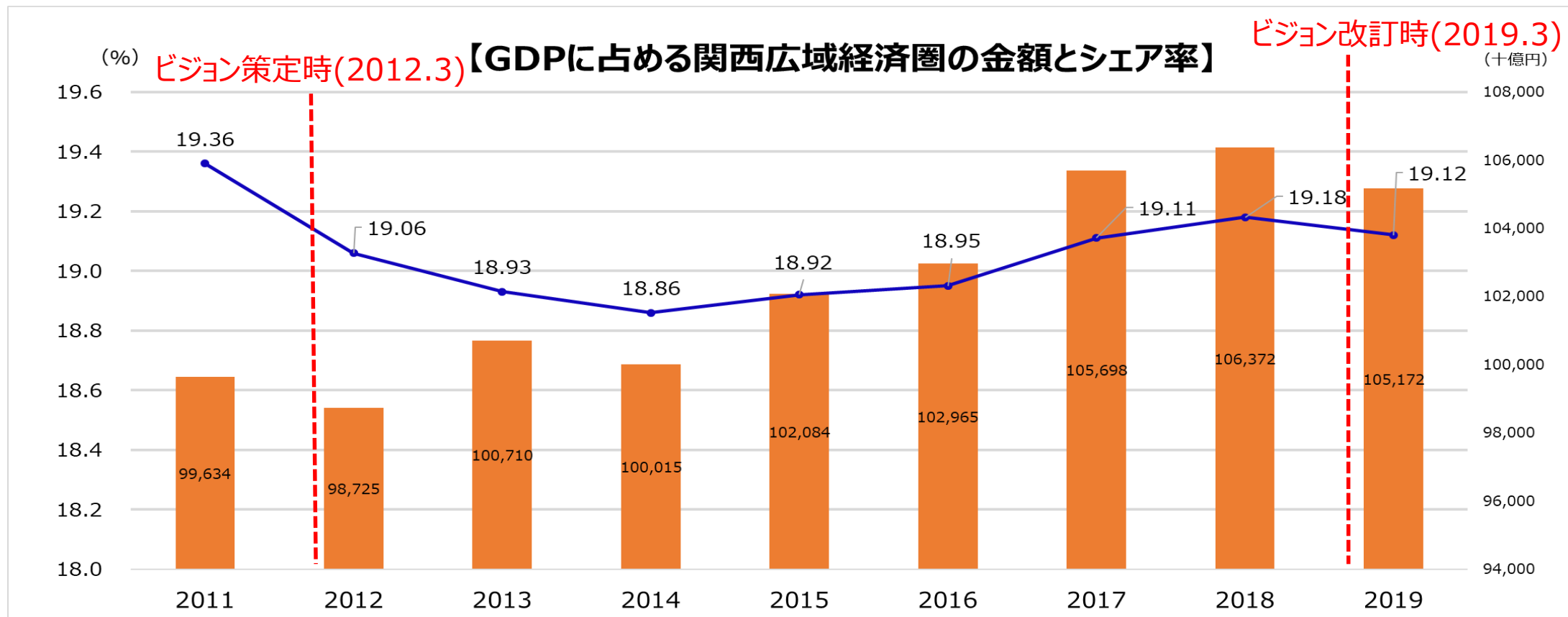
目標設定について

○ 現行ビジョンの目標

30年後(2040年度)*の関西(広域経済圏)の経済・産業の国内シェア25%、GRP約1.8倍(2010年度比)の約180兆円

*計画策定(2011年)から30年後

○ 現状



GRP及び国内シェアについては、ビジョン策定後、ほぼ横ばい。

目標設定について

【事務局(案)】

改訂ビジョンの目標	現行ビジョンの目標
<ul style="list-style-type: none">◆ 2つの将来像の実現<ul style="list-style-type: none">① 世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西② 産業を支える多様な人材が活躍・共生する関西	2040年度の関西広域経済圏の経済・産業の国内シェア25%、GRP約180兆円

将来像が実現した状態を定量的に表す参考指標として、2040年度の関西（広域経済圏）の経済・産業の国内シェア22%を設定

【検討のポイント】

- ◆ 改訂ビジョンの目標について、現行ビジョンの目標を維持するかどうか。
(第1回改訂委員会における主な意見)「目標の実現が難しくなっており、変更もありえる。」「GRPの国内シェア25%に至る道筋がまだ見えない。」

【考え方】

- ◆ 本ビジョンの策定の趣旨は、関西経済活性化に向け、構成府県市、経済団体、関西広域連合等の関係主体で目指すべき将来像を共有すること。よって、目標に掲げる「世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西」「産業を支える多様な人材が活躍・共生する関西」の2つの将来像と、その実現に向けた取組を示すこととする。
- ◆ 国内シェアについては自己完結性の面で内在的制約があり、GRPの金額についてはわが国全体の国内GDPに対するシェアから算出されるものであるため、目標として扱うよりは将来像の実現を定量的に観測する参考指標とすることが適当。
- ◆ 国内シェアの水準については、第1回改訂委員会での意見も踏まえ整理。
 - ① 「2040年までのGRP推計」の〈設定ケース1〉では2040年度にシェア25%を達成するためには、今後関西で毎年2.1%の成長が必要。
 - ② 一方、関西の2011年～2019年の平均経済成長率は0.7%
 - ③ さらに、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大や海外情勢の変動等の社会情勢なども踏まえると、実現の見通しは立て難い。
- ◆ このため、「2040年までのGRP推計」の〈趨勢ケース2〉をベースに、毎年1.2%の成長により到達する国内シェア22%を参考指標として設定する。

【参考】 関西が目指す将来像 ～関西広域経済圏における2040年までのGRP推計～

第1回関西広域産業ビジョン改訂委員会 資料（抜粋）（R5.3.29）

【表①】

金額の単位：百万円

シェア	GDP(国内総生産) (2020以降は推計)	実質推移	趨勢ケース1 (0.7%成長)	趨勢ケース2 (1.2%成長)	設定ケース1 (2.1%成長)
2015	539,413,500	18.9%			
2016	543,479,100	18.9%			
2017	553,173,500	19.1%			
2018	554,546,300	19.2%			
2019	550,137,700	19.1%			
2020	527,364,600	19.2%			
2021	540,924,300	18.8%			
2022	543,629,000	19.1%			
2023	546,347,066		19.1%	19.1%	19.1%
2024	549,078,801		19.2%	19.3%	19.4%
2025	551,824,195		19.2%	19.4%	19.8%
2030	565,758,448		19.4%	20.1%	21.4%
2035	580,044,558		19.6%	20.8%	23.1%
2040	594,691,410		19.7%	21.5%	25.0%

APIRの関西経済の現況と予測NO.61
2022年11月29日の数値をもとに算出

出典：内閣府 経済社会総合研究所 統計表一覧（2022年10-12月期2次速報値） 実質年度
県民経済計算（平成23年度 - 令和元年度）（2008SNA、平成27年基準計数）
月例経済報告（月次）GDPギャップ、潜在成長率（令和5年3月8日更新版）